



男性・女性は生まれたときに決まる？
女性(男性)は男性(女性)を好きになる？



**性のありかたは、ひとつじゃない。
多様な性について考えたい。**

大阪府では、「大阪府人権尊重の社会づくり条例」に基づき、全ての人の人権が尊重される社会をめざし、

- ・一人ひとりがかげがえのない存在として尊重される差別のない社会の実現
- ・誰もが個性や能力をいかして自己実現を図ることのできる豊かな人権文化の創造を府政運営の基本理念としています。

詳しくは裏面を
ご覧ください

性の多様性について知ってください。

性の3つの要素

生物学的な性(からだの性)：生物学的な体の特徴が男性か女性か

性自認(こころの性)：自分の性をどのように認識しているか

性的指向：恋愛感情や性的な関心がどの性別に向いているか

・性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)を示す概念として、それぞれの頭文字をとって、**SOGI**(ソジ)と呼称することもあります。

・性自認や性的指向は、本人の意思で選んだり変えたりできるものではありません。



大阪府
広報担当副知事
もずやん

性的マイノリティとLGBT

「生物学的な性」と「性自認」が一致している人や、「性的指向」が異性に向いている人が多数派とされる一方で、これらにあてはまらない性的マイノリティ(少数者)の人がいます。性的マイノリティの人権問題に関する社会の理解はまだ十分に進んでおらず、差別や偏見が存在する中、多くの当事者が生きづらさを感じています。

性的指向についてのマイノリティ

Lesbian

(レズビアン)

同性を好きになる女性

Gay

(ゲイ)

同性を好きになる男性

Bisexual

(バイセクシュアル)

異性を好きになることもあれば、同性を好きになることもある人

性自認についてのマイノリティ

Transgender

(トランスジェンダー)

出生時に決定された性(からだの性)とは異なる性を自認する人

・各語の頭文字をとって、「LGBT(エル・ジー・ビー・ティー)」と表現されています。また、LGBTは性的マイノリティの総称としても使われています。
・LGBT以外にも、性的指向や性自認がはっきりしない人や揺れ動く人、あるいは性的指向や性自認を持たない人もいます。
また、「LGBT」と「そうでない人」というような、はっきりした境界があるわけではありません。

近年国内で行われた複数の民間の調査結果によると、性的マイノリティの人は全人口の8%だといわれています。全人口の8%というと、約13人に1人の割合。生きづらさを感じている当事者は、あなたの周りにもいるかもしれません。

性のありかたは人それぞれ。

みんながありのままにいられる社会って、素敵だと思いませんか？

国(法務省)の人権相談窓口

常設相談【みんなの人権110番】

TEL **0570-003-110**

【受付時間】平日午前8時30分～午後5時15分

インターネットによる人権相談も受け付けています。
詳しくは法務省のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/>

大阪府の人権相談窓口

大阪府が一般財団法人大阪府人権協会に委託し実施しています。

TEL **06-6581-8634**

【受付時間】平日相談：月～金 午前9時30分～午後5時30分

夜間相談：火曜日 午後5時30分～8時30分

休日相談：毎月第四日曜日 午前9時30分～午後5時30分

メー ル：so-dan@jinken-osaka.jp

手 紙：〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階

F A X：06-6581-8614



大阪府 府民文化部 人権局 平成29(2017)年10月発行
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)38F
TEL(06)6210-9281 FAX(06)6210-9286

【このチラシは11,000部作成し、1部あたりの単価は14円です】

大阪府 性的マイノリティの人権問題に関するwebページ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/sogi/index.html>

